

6. 文化的・社会的貢献活動に関する活動

- ・当組合では、ラムサール条約に指定されている伊豆沼・内沼の美しい環境を保全するために春と秋のクリーンキャンペーン活動に毎年参加しており、平成19年度は職員82名が参加いたしました。
- ・夏祭り等の協賛活動では、若柳なかまち商店街夕遊市、築館七夕まつり、長沼はすまつり、佐沼夏祭り、中田の秋祭り、築館葉師まつり、米山商工祭、津島神社煤払式・どんと祭、なかた秋まつりなどに参加いたしました。
- ・しんくみ献血活動として、9月に職員65名が献血に協力いたしました。
- ・せんぼく法律相談会を開催（7月、11月）し、相談者13名に参加いただきました。

7. 利用者満足度の向上に向けて取り組んできたこと

◆組織面

- ① CS向上委員会規程（顧客満足度）の制定による職員の意識改革（マインドアップ）。
- ② 情報開示として、地域総代会を年2回開催。
- ③ いつでもお客様の声が届くようにと「理事長へダイレクト便」を店舗内に設置。
- ④ 職員がいつでも、どこでもお客様の声を本部に届ける「お客様のつばやき」を制定。

◆店舗環境・設備面

- ① 窓口営業を夜7時まで延長。（気仙沼支店を除く）
- ② 店外ATMを市役所、病院、スーパーへ設置。
- ③ ATM稼働時間の拡大として、平日7時～22時、休日8時～20時までに変更。
- ④ インタネット・モバイルバンキングの取扱開始。
- ⑤ ホームページ内にお客様の意見・要望コーナーの設置。

◆手数料面

- ① ATM手数料の無料化（当組合の本支店間）。
- ② 為替手数料の無料化（当組合の本支店間）。
- ③ 夜間金庫手数料の無料化（鍵の紛失等を除く）。

◆金融商品・サービス面（商品の充実）

- ① 少子化支援並びに経済的負担を軽減する（大学等の在籍期間中の金利が無利息）、新型教育ローン「めざせ大物！」の発売。
- ② 多重債務者を支援する、おまとめローン「まとめてハッピーローン」の発売。栗原市と提携した「のぞみローン」の発売。
- ③ 高齢化社会に対応した、最長75歳まで申込が可能な「かんたんぼけっとローン」の発売。
- ④ 担保や保証に過度に依存しない融資商品「問答不要」の発売。預金商品の充実として、「スペシャル定期預金“さくら”」「頑張れふるさと応援定期“2007”」の発売
- ⑤ 年金受給者を支援する高金利定期預金「しあわせ200」発売（200万円、平成19年4月より）。



築館支店



栗駒支店

「地域密着型金融」の取組み状況について

当組合では、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」（平成19年4月～20年3月）に基づき「地域密着型金融推進計画」を策定し、下記のとおり取組みしてまいりました。引き続き「地域密着型金融」の必要性を考え、お客様や地域のニーズを的確に把握し、ビジネスモデルの確立・深化をしていくためにも、今後も積極的に業務改革に取り組んでまいります。

地域密着型金融推進計画の取組項目

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

①せんぼく若手経営者の会設立

地域内企業の経営者（後継者）が常に新時代に処する必要な知識の向上と創意工夫を行い、自企業の発展を目指し、地域経済の活性化に寄与することを目的とし設立、19年度の事業として、3回にわたりビジネスセミナーを開催いたしました。（現在、会員数110名）

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

①栗原・登米法人会メンバーズローンの創設

栗原、登米法人会会員企業に対する経営相談ならびに会員サービスをより充実させるため、法人会と提携し、会員向けに優遇した新たな融資制度を創設し、会員の経営安定ならびに発展に資することを目的とし創設いたしました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

①栗原市提携「栗原市のぞみローン」の創設

栗原市では自殺者が年々増加している状況であり、原因の一つに経済的な問題として「多重債務問題」があり、この問題解決のため多重債務に対する債務まとめローンを栗原市と提携いたしました。

②ホームページ開設支援

地域の小売市場が大手資本にマーケットジャックされている中、組合員企業が、ホームページを立ち上げるにより販路を拡大し、売上向上、収益向上を図ることを目的とし、ホームページ作成の支援を開始いたしました。



中小企業支援室による支援活動

当組合では、中小企業支援室を中心にお取引先の経営改善サポートや経営改善計画書の作成アドバイスなどを行っております。当支援室では、お取引先を訪問し、経営者との面談や現場調査等を通

じて、企業の問題点・課題解決に向けた方策等をお取引先と共有しております。

経営改善支援の取組み実績

【18～19年度（18年4月～20年3月）】

（単位：先数）

	期初債務者数	経営改善支援取組み先	期末に債務者区分がランクアップした先数	期末に債務者区分が変化しなかった先
正常先	3,683	5		4
要注意先	283	その他要注意先	0	25
		要管理先	0	0
破綻懸念先	50	4	1	1
実質破綻先	62	0	0	0
破綻先	50	0	0	0
合計	4,137	45	1	30

※債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。